



幼児への読み聞かせ！言語表現4級に挑戦！

生活科学科では、以下の表のように、保育技術検定（以下、保育検定）の合格を目標に日々の授業を頑張っています！そして、前回紹介したように、保育検定には「造形表現」・「言語表現」・「家庭看護」・「音楽リズム表現」の4種類があります。

その内、言語表現では童話や物語、紙芝居などの読み聞かせを通して、幼児の発達段階にふさわしい言語表現の基本的技術を身につけることを目的としています。また、自分自身でお話を創作し、そのお話を適切な表現かつ時間内で読み聞かせるために必要な言語表現に関する知識や技術習得も目標にしています。

そして、今回は、保育コース・生活福祉コースの2年生が保育検定の言語表現4級合格に向けて取り組んでいる実習の様子をお伝えします。



学年	合格を目標とする検定名
保育コース2年生全員・生活福祉コース2年生希望者	言語表現4、3級
保育コース3年生全員・生活福祉コース3年生希望者	言語表現2、1級



言語表現4級では、童話や物語の短い文章を正しく読んだり表現したりすることにより、幼児の発達段階にふさわしい言語表現の基本的技術を身につけることを目標にしています。

今回は生徒の皆さんにもなじみのある童話の一部を用いて、模擬試験を行いました。

今回は本番と同じ形式で担当の先生と1対1になって、2分間という制限時間内で読み聞かせを行いました。事前に練習をし、模擬試験に臨みましたが手応えはどうか？
全員合格できるように頑張りましょう！

